

広報くにみの作り方

①企画・情報収集

町民の方々から頂いた情報や町からのお知らせ、イベントなどを精査し、何を伝えるべきか、どこにどの記事を掲載するかを考えます。

②取材

町の広報担当が直接出向くようにしていますが、行事が重なった場合は町民のみなさんに

写真等をお願いすることもあります。写真撮影では、記録写真ではなく笑顔の写真に心がけています。



③編集



文章の編集、写真の加工等はパソコンで行います。

④入稿

編集したデータを印刷会社に渡します。

⑤校正

入稿したデータを印刷会社が印刷。みにくいとこや、文章を確認。修正を行います。

⑥印刷

広報は毎月3,800部印刷・製本されています。

⑦納品・配達

広報くにみの発行は毎月5日から10日の間の月曜日が金曜日になります。各家庭の配布については町内会長さんをお願いをしています。

表紙のあゆみ



創刊号
昭和48年6月
広報くにみの創刊号。同じ場所は・・・探してみました。



50号
昭和52年8月
表紙は、キラキラしていた方が飾っていました。



100号
昭和56年10月
町会計決算状況が掲載。当時は総額約22億円でした。



150号
昭和60年12月
ミス国見コンテストがあり、ミスはトラックに乗りパレード。



250号
平成6年4月
この月、観月台文化センターがオープン。館内図を大きく掲載。



300号
平成10年2月
この号はごみへのマナーが大きくとりあげられていました。



400号
平成18年10月
町会計決算状況が掲載。総額約40億円でした。



450号
平成22年12月
ももたんが初登場。でも、今月パワーアップしたももたん登場。



200号
平成2年2月
当時献血をすると氏名が広報に掲載されていました。



350号
平成14年8月
柏葉体育館がオープン。学びの場として利用されています。



500号
平成27年3月
国見町歴史の風致維持向上計画認定。

広報くにみ 500号 町民のみなさんに親しまれる 一番身近な情報発信誌へ

2015.3

行政情報やみなさんの姿など、町の動きをより早く、より正確に、そして、より楽しく見ていただけるよう、少しずつ前に進んできた広報くにみ。これからも、この町を誇れるような、もっと好きになるような、みなさんの記憶に残るような「いま」を伝えていきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

広報くにみが 目指すもの

町の情報伝えるとき
に注意しなければなら
ないことは行政から一
方的にならないこと。難
しい言葉、カタカナ言葉
を並べないこと。わかり
やすい言葉で伝えなけ
れば意味がありません。
また、手にとり、読み
ていただくために、重
要なことは、主役は、
町民のみなさんという
ことです。みなさんの笑
顔や一

生懸命頑張っている姿。写真は、言葉以上に伝えることができます。写真一枚が読者の目を引き、また、見てみたい、自分も出てみたいと思ってもらえるような広報をと思っています。(これが、大変に難しいのですが)。
町には、千年の歴史があります。「千年のまち、これから百年のまちづくり」郷土に誇りをもち、町を好きになってもらい、そして、これから百年の町を一緒に造っていったら。広報くにみはみなさんと一緒に紙面に息を吹き込みたい。そのためにも、みなさんの声を聴かせてください。小さな声でも、集まることにより大きな声になり、やがて原動力になる、内なる力を秘めているはず。自分たちの町を良くしようと、「いま」産声をあげようとしている、みなさんの声。を聴き、みなさんにお伝えしたいと思えます。ぜひ、意見ご感想があればお寄せください。お待ちしております。

創刊号から
48年は第二次ベビーブーム。昨年の国見町の出生者数は年間約40人。創刊号に記載されていた2か月間の出生者数は34人。2か月で今の1年間に生れた赤ちゃんと同数。時代を感じさせます。

広報くにみは、昭和48年6月1日に産声を上げました。
当時町の世帯数は約2600世帯。創刊号はB5版(現在は一回り大きなA4版)、8ページ、黒単色の広報でした。今も昔も、みなさんのお手元に届くその情報誌には、行政からのお知らせはもちろん、地域の話題やニュース、町民のみなさんの笑顔もお届けしています。

広報くにみの歴史